

情報メディア主催

\\ 内定者から話が聞ける! //

就職座談会 2021



4年生パネリスト



Aさん
大森ゼミ

銀行
総合職



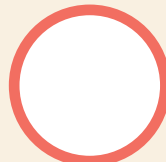
Bさん
尾関ゼミ

プログラマー



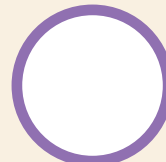
Cさん
肥後ゼミ

Web
デザイナー



Dさん
赤岡ゼミ

システム
エンジニア



Eさん
和泉・平井ゼミ

アパレルメーカー
総合職

- A. 大森ゼミのAです。N銀行の総合職に内定しています。
- B. 尾関ゼミのBです。Web会社のプログラマーとして内定しています。
- C. 肥後ゼミのCです。Web業界のWebデザイナーに内定しました。
- D. 赤岡ゼミのDです。IT企業のSEとして内定をいただきました。
- E. 三年生までは和泉ゼミ、四年生からは平井ゼミに所属していますEです。
アパレルメーカーの総合職(販売職)として働きます。

Q.1

就職活動はいつ頃、何から始められましたか？また、就職活動の大まかな流れを教えてください。

3年生の夏頃から、意識して就職活動を始めました。まず、興味のある業界のインターンシップに参加して、自己分析を進めました。自己分析を進めつつ、キャリアセンターで添削してもらい、「自己PR、**ガクチカ**」を完成させていきました。

※**ガクチカ**・・・学生時代に力を入れたこと

3年生の5月、6月頃から就職活動を開始し、同時に就職活動全体の流れを把握するために就活に関する本を読んでいました。7月から10月頃までは、自己分析・業界研究をしつつ、インターンシップや面談に参加をし、11月から3月頃は自己分析を継続しつつ面接を受けていました。面談は、インターンシップで声をかけていただいていた企業のものを受けていました。

私は皆さんと比べたらもしかしたら選考が遅かったかもしれませんが、3年生の10月頃から就活を意識し始めて、企業を調べ始めました。私はシステムエンジニア志望だったので、3月4月はSEを募集している会社を見ていたのですが、本当にそれで良いのかを改めて考え始め、やはりデザインの仕事がしたいと思い、5月頃から**ポートフォリオ**を作り始めました。そして、8月にWeb制作会社から内定をもらい、就職活動を終えました。

※**ポートフォリオ**・・・作品集

3年生の6月にマイナビのWEBEXPOに初めて参加しました。そこから就活イベントやインターンシップにいくつか参加し、初めて面接を受けたのは3年生の1月です。3月に一度内定をいただきましたが、内定をいただいた後も4年生の4月頃まで就活を続けていました。

3年生の春に就職活動サイトに登録して、夏にはインターンシップや大学主催の企業ツアー等に参加していました。3年生秋に早期選考に参加し、その年の冬から本格的に就活を開始しました。4年生になり、6月7月あたりに内定をいただきました。

Q.2

自己分析はいつ頃、どのようにしましたか？

3年生の夏頃から始めました。自己分析のやり方が分からなかったため、マイナビなどに載っている方法を試したり、幼少期からの過ごし方を振り返ったりして、自分の行動や、性格の傾向などを明らかにしていきました。その他にもキャリアセンターの方に手伝っていただき、自己分析を進めていきました。

インターンシップ参加前の6・7月頃から就職活動が終わるまで、自己分析を行っていました。初めは本を一冊買って、そこに載っている項目に従い、どのような人たちに囲まれて、どのようなことを考えて生活を送ってきたか、生い立ちから今までを振り返りました。まとめた後は、インターネットで出題されている質問項目を参考にしつつ、引き続き自己分析を行っていました。

2月頃から仲のいい友達とお互いのことを話しながら自己分析を行いました。キャリアセンターも活用したのですが、新型コロナウイルスのこともあり、学校に通うことが難しかったため、友達と自己分析を行っていました。友達と自己分析を行うことの利点は、自分では気づかない、自分の良さや強みが分かることです。

3年生の10月頃に実力養成講座という講座に参加し、自己PRを作成しました。キャリアセンターも利用して話を聞いていただき、自己分析や、やりたいことを相談しました。

自己流で3年生の春から4年生の春頃まで自己分析を行い、**ES**や面接で使いたいエピソードに合う言葉を探しました。

※**ES**・・・エントリーシート

Q.3

業界研究、企業研究について具体的にどのように調べましたか？また、業界は絞って受けていましたか？

業界研究や企業研究は、インターンシップやマイナビ、リクナビ、学内のイベントなどに参加して企業の方からのお話を聞いていました。業界は比較的絞って活動していましたが、私は最初IT業界を見た後、途中から銀行に変えて就職活動をしていました。

業界研究は、業界地図を読んで気になった業界を、インターネットで詳しく調べたり、インターン先で質問をしたりしていました。企業研究は企業のHP・クチコミサイト（Open Work・エンライトハウスなど）・インターン、面接の逆質問などをして理解を深めていきました。

業界地図を読んだ後、何かを作ったり考えたりすることが好きだったので、IT業界を中心に広告、デザイン関係を見ていました。

就職活動を始めるにあたり、業界を絞らずに土日祝は休みがいい、女性に優しい制度がある会社など条件を決めて、マイナビ・リクナビなどで調べていました。

マイナビや口コミサイトで業界を絞りました。志望順位が低い業界を決めて就活をしました。

Q.4

この業界に進もうと思った最終的な決め手は何ですか？

金融業界に決めた決め手は、知識を積み重ねることが誰かの役に立つことや、信頼関係の構築が大切になってくるということでした。私自身、コツコツ積み重ねていくことが得意で、人と関わることが好きな部分を活かせると思ったからです。

自己分析をしていく中で、この業界が自分の性格に合っているのではないかと、最終的に感じたからです。将来的に色々な場所で仕事ができる方がいいなと感じていて、プログラミングは決して得意とは言えないですが、勉強して嫌な気持ちにはならないこと、日常的に勉強が必要な職種を志望していたこともあり、自己分析を進めていく内に自分自身の中でIT業界に進みたいと思えたので進むことに決めました。

就活をし始めた時は、私はSEになるのだと漠然と思っていたのですが、選考が進み、内定をもらい始めて、改めて深く自己分析をしたり、友達に相談したりしていき、進む先はSEではないなと思いました。再度、自分の将来について考えた際に、デザインと技術の両方がしたいと強く思うようになり、最終的にウェブ業界に進もうと決めました。

情報メディア学科として4年間学んだことが活かせると思ったこと、IT業界は将来性があるということ。また、今回新型コロナウイルスで在宅勤務が増えたことで、IT業界は在宅勤務を推奨しており、内定先の会社も部署によっては8割在宅勤務が可能であること、これからの時代に合っているという点で決めました。

私は最初SEになろうと思っていたのですが、学校で行われた内定先の説明会で、システム系には弱いけどデジタルに強い人材を求めていることを知り、販売職も経験することにはなるが、将来的にシステムに関われるところが良いなと思い、決めました。

Q.5

企業を選ぶうえで何を重視しましたか。また、そう考えた理由は何ですか。

企業選びで一番重要視していたのは、インターンシップや会社説明会などで人事の方々の人柄を見ることです。福利厚生や給料、休みなども私の中では譲れない条件だったので重要視していましたが、それらの条件が良くても実際質問してみた時の対応など、少しでもしっかりこないことがインターンなどで見つかったら、その会社の選考は受けないようにしていました。

働きやすい環境を整えようとしているか、というのを重要視していました。継続して社員が働きやすい環境とは何かを考えて、実際に行動に起こしているかが重要だと感じたからです。その企業に属して、楽しいと感じられる業務内容であるかどうかも重視しました。私の会社選びで、「学び続けたい」という点があったので、この場所になれば自然とその考えが維持できるかどうか、という点が最終的な会社選びにも直結しました。

私が重要視したところは、雰囲気・職場の環境・働いている人たち・自分が本当にここで仕事がしたいと思えるか、です。福利厚生も大切だと思いますが、働いていく上で、自分が会社の雰囲気と合っていないと、自分自身がつらいのではないかと、雰囲気と環境を重視していました。

私は関西で就職しなかったので、関西に本社がある勤務地を中心に受けていました。女性に優しい制度があることや、福利厚生がしっかりしていることももちろん大切なのですが、同じゼミの先輩で、内定先に就職した先輩がいたので、実際に話を聞いて最終的に決めました。

私は残業が少ないところ、あとは人事の方の人柄の良さや、自分の能力を生かせることを重要視しました。

Q.6

面接対策はどのようにされましたか？また、実際の面接でどのような質問をされましたか？

キャリアセンターや新卒応援ハローワークなどで面接練習をやらしてもらったり、なるべく多くの企業の選考を早めから受けたり、実際の面接の場で経験を積み重ねるようにしていました。実際にされた質問は、自己PRや志望動機など割とよく聞かれる質問が多かったです。

よく聞かれる質問はネットで調べると出てくるので、その項目に沿って全ての解答を書き出し、それを丸暗記していました。しかし、その方法だと、一つの言葉が抜けただけで全てが分からなくなる経験をしたので、丸暗記ではなく、話の流れと単語を覚えるようにして、一人で何度も唱えて練習しました。そのほかに、「ITは好きですか」・「お花屋さんでITを取り入れるとしたらどのようなサービスを提案しますか」という質問がありました。

面接対策は友達に面接官役を頼んで、志望理由・自己PR・長所短所・強み弱み・なぜこの業界なのか・大学生活のこと・将来どんな人になりたいか、などの質問に答えられるようにしました。志望動機に関しては、1分や30秒など様々な時間で答えることが出来るように用意しました。それとプラスでOpenWorkに掲載されている企業の質問は、最低限答えることができるように準備していました。質問内容は、私が受けた会社では特に変わった質問が無かったので、基本の質問を抑えていたら大丈夫だと思います。

面接対策は一人で行っていました。ESや履歴書に書いたことは、どこをどう聞かれてもすぐに答えられるぐらいに暗記していました。多かった質問は、「なぜこの業界にしたのか」・「なぜこの会社にしたのか」・「会社に入ったなら何がしたいか」・「あなたが一番チャレンジしたこと」などが多くて、一番驚いた質問は、「あなたは、なぜその高校に進学したのですか」という質問です。高校まで遡って聞かれることもあるので、そこまで考えていた方が良いと思います。あと、【企業名・面接・質問内容】で検索すると、過去に面接を受けた人たちが、当時の質問内容を書いているので、それをよく調べて事前に対策していました。

私は3年生の時に、キャリアセンター主催の面接対策セミナーに一度参加しました。また、マイナビの会社紹介システムから、電話で面接の相談にのってもらえるサービスも利用しました。面接での質問は、皆さん以外の質問だと、「リーダー経験の有無」・「リーダーをする中でどんなことに取り組んだか」・「SEという職種は女性が少ないが、どう思っているか」という質問がありました。

Q.7

これだけは伝えておきたい！
という面接のコツを教えてください。

笑顔と相槌、大袈裟げみとなっても愛想をよくするということが、すごく大事であると私は思いました。そして、予想外の質問をされた時も、絶対に間をおかないことです。答えようとしている姿勢も評価してもらえると感じました。

面接を变に怖がらないことです。面接官の方は、敵でもないし落としてやろうと思っているわけでもないので、面接官に自分の魅力が伝わるように話しました。面接官の方をどう捉えるかだけでも話がしやすくなるので、その意識はとても大切だと思います。長々と話すのではなく、的確に要点をまとめて話すことや、不安要素をなくすためにも面接ならではの礼儀を事前に頭に入れておくと、スムーズに面接を進めることができると思います。

私は笑顔と目を見て話すことです。自分が楽しそうだと、相手も楽しく感じるので選考が進んでいきます。文章を暗記して覚えなくても重要だと思います。

私は、コロナ禍での就活だったのでWeb面接が主だったのですが、画面越しでは表情が伝わりにくかったりするので、大きくうなづくこと、笑顔を絶やさないと意識すればいいと思いました。あとは面接官の質問の意図を読み取って、端的に答えることが大切だと思います。

大事なことは準備をしっかりするということです。私自身、逆質問がとても苦手だったのですが、最終的に見つけた自分の案としては企業のSNSやHPを見て、プレスリリースなどが関係する質問を行っていました。

Q.8

自分は他の人と比べてここが違うぞ！というところは何ですか？また、その強みをどうやって見つけられましたか？

人との関わり方や努力の仕方です。強みの見つけ方は、今まで達成してきた目標を振り返ることや、褒められたことやアルバイトの経験から、自分を見つめなおして見つけました。キャリアセンターの方に相談したり、家族や友人などの周りの人に聞いたりするのでもいいと思います。また、面接での受け答えは褒めてもらうことが多かったです。面接ですごく緊張してしまい、ガチガチになって個人的には納得できなくても、堂々としていていいねと言っていただけのことがあり、とても自信になりました。

私はグループで作業をする時の、協調力と率先して作業に取り組む力です。自分自身の過去の取り組みを振り返っていくと、どういう姿勢で物事に取り組んでいるのかの共通点を見つけることができ、そうして強みを見つけることができました。また、就職活動のグループワークや、人事の方からのフィードバックなどで、自信を持って強みを見つけることができました。

就職活動の時は、行動力と言っていたのですが、今改めて振り返って考えると、粘り強さだと思います。何故、就職活動の際に行動力と言っていたかということ、新しいことにも臆さず挑戦できることが私の強みじゃないかと思っていました。実際に、国際ボランティアに参加したり、既存のお店のWebサイトを作ったりするなど、他の人たちが進んでやらないことに挑戦していました。そういう経験が、自分の強みであると友達との自己分析で見つけたので、行動力を強みにしていたのですが、今振り返ってみると、本当の強みは粘り強さなのではないかと思います。私は、最初SEを目指していたのですが、途中で路線変更したことで、他の人たちよりも就職活動が長引いてしまいました。ただ、最後まで諦めず、自分の納得のいく就職活動ができたので、私の今の強みは粘り強さだと思います。

就活期間中は、ゼミなどでコンペに参加した際に、積極的に行動していたことを強みにしていました。就活をしているとWeb上で行うグループワークがあるのですが、皆が話にくかったり、緊張していたりする中で、一言目を話すように意識していたので、そういったところで人事の方にも「場を和ませようとしているね」と褒められました。なので、そこが強みだと考えています。

就職活動で言っていたのは、率先してグループの中で動き出すということだったのですが、面接で言っていただけが多かったのは、緊張しているように見えず、楽しそうに話すということです。それを今後は強みにしていきたいと思っています。

Q.9

情報メディア学科は企業からどんな印象を持たれているか、就活中に感じたことがあれば教えてください。

ITパスポートを取得していることもあり、ITに関する知識を面接で問われたことがありました。しかし、情報メディア学科という言葉だけを聞いても、どういうことを学んでいる学科なのか分からない方が多かったという印象です。

プログラミングだけでなく、社会的なことも勉強していることに対して、好意的な印象を持たれることが多かったです。

何をしている学部なのかをよく聞かれました。他の学部に比べて幅広いことをしている学部だからこそ、企業の方も何をしている学部なのか詳しく聞きたいのではないかと面接を受けていく内感じました。あとは、IT業界であればどんなプログラミング言語の勉強をしてきたかを聞かれました。

情報メディアという名前なので、何をしているか分かりにくいし、パソコンを使った授業を主にしているイメージを持たれていました。私は、マーケティングのゼミに所属していたので、マーケティングや広告の授業があることを伝えました。

何を勉強しているのですか？と聞かれることが多いので、端的に答えられるようにしておくといいと思います。

Q.10

興味を持っている職種以外も見学や面接に行きましたか？また、そこで参考になったことがあれば教えてください。

さまざまな職種のインターンシップに参加していました。イメージだけで興味が無いと思っていたことが多いですが、実際に話を聞いてみると、自分の知らない面などを知ることができたりするので、志望する業種の幅が広がると思ったからです。

第一志望ではない業種でも説明会やインターンシップは参加しました。他企業に行くことで自分が第一志望の業種が、なぜ第一志望だと思ったのか確認できることと、業種に関して色々な見方ができるようになったので良かったと思います。

私は志望している業種以外のインターンシップには参加しませんでした。自分の興味がある業種の企業をもっと調べていきたいと思ったからです。

私は志望している職種以外も、インターンシップに参加したり、面接を受けたりしました。理由は、面接は回数を重ねることに慣れていき、上達していくものだと思ったからです。また、自分が本当に行きたいところと比較し、本当に行きたいのかを自問自答していました。

さまざまな業種の説明会に行きました。私は業種の時点でいろいろ悩んでおり、決めることが出来なかったからです。ただ、興味はあっても苦手とする業種には参加しなかったです。

Q.11

インターンシップに行くと周囲との差をつけられるとよく聞きますが、参加はしましたか？また、参加して良かったと実感されたことがあれば教えてください。

周囲との差をつけられたかどうかはわかりませんが、実際に働いている方のお話を聞くことや疑問に思っていることを聞くことができる場だと思うので、参加するに越したことはないと思います。インターンシップ参加者限定で、早期選考を受けられることがあるので、マイナビやリクナビを見て、少しでも気になると思ったら、参加するようにしていました。

主に夏のインターンシップに数社参加して、早い段階で色々な質問を投げかけられたのは良かったなと思いました。それとプラスして、インターンシップ参加後のフォローアップがしっかりされることが多いので、個人面談で人事の方からどういう印象を持ったなどとお話して頂けるのはとても良かったです。その後の選考にもつながることが多いので、行動しないと不安だという方は、特に参加しておいて損はないと思います。

私はSEの1DAYのインターンシップに参加しました。参加してみてSEの働く職場環境を知ることができたので良かったと思います。ここがいいと思う企業や大手企業を目指すのであれば、参加することで早期選考に関係してくるので積極的に参加した方が内定を貰いやすいのではないかと感じました。ただ、インターンシップに参加することも大事ですが、しっかりと自己分析をして、本当に自分のなりたいたい道であるか、改めて見直すことも重要だと思いました。

私も参加しました。参加して良かったと思った点は、自分で気づけなかった悪い癖を指摘していただいたり、グループワークでの進め方をアドバイスしていただけたことです。グループワークは選考の中に組み込まれていることも多いので、インターンシップで練習しておいて、どう進めていくかを人事の方にアドバイスをもらえることは良いと思います。

私も参加しました。インターンシップのおかげで早期選考に招いていただいたので、参加して良かったと思います。早期選考に進める案内メールで、「インターンシップで特に良かったので招きました」と書かれていることが多いので、それがとても自信につながりました。

Q.12

就活のために、利用していた施設やイベントを教えてください。また、学業と就活の両立はどのようにしていましたか？

インターンシップ、リクナビのイベントや学内のイベントには積極的に参加していました。私は、キャリアセンターもよく活用していて、漠然とした不安もキャリアセンターの方に話すことで安心感や自信を得られるのでお勧めです。あとキャリアセンターで紹介していただいた「新卒応援ハローワーク」にも参加していました。3月になるとキャリアセンターの予約が取れなくなるので、予約がなくても参加できる、外部の場所を活用するのも良いかなと思います。

私はあまり利用していなかったのですが、夏の始めに就活がどういったものなのかを教えてください、リクナビの授業形式の就活プログラムに参加していました。

私はDEIBAとクリ博ナビ「みんな『ポートフォリオの作成』どうしてる？～就活状況共有会inオンライン～」に参加していました。DEIBAは、グループディスカッションを行っているところを見て、講評してくれるところが良かったです。クリ博ナビは、ポートフォリオ作成のために参加していました。情報メディア学科では、デザイナ職を志望する人が少ないので、ポートフォリオを作る際にどのように作成すれば良いのか悩んだのですが、参加したことにより美大生のポートフォリオや完成した人のポートフォリオ見ることができ、参考になりました。そして自分のポートフォリオを見せる機会もあり、他者の意見をもらえることができたので、参加して良かったです。

私はキャリアセンターには1回しか行っていませんが、キャリアセンターと実力養成講座とマイナビ、リクナビのイベントを利用していました。

私もキャリアセンターへ実際に行ったことはないのですが、オンラインイベントに参加していました。あとは、マイナビのオンラインイベントも参加していました。施設やイベントではないのですが、キミスカという逆オファー型のサイトがあったので、それも利用していました。

Q.13

学業と就活の両立はどのようにしていましたか。

3年生の後期はオンデマンドの授業がほとんどだったので、就活に集中する日というのと、授業に集中する日というのを決めて取り組んでいました。

アルバイトも変わらずに行っていたので、時間を無駄にしないように週末の日曜日などに次の週何をいつするのかを全て時間ごとに書き出していました。スケジュールの管理でいえば、就職活動専用のスケジュール帳を購入して、就職の流れを知ることができて、かなり役に立ったなと思います。

就活をする時点で卒業できる単位は取っていたので、学業が就活に影響することはほとんどありませんでした。

私も主な就職活動は3年生の春休み中だったので学業はありませんでした。しかし、アルバイトとは両立していました。面接はほとんど月～金曜日の平日しかないの、土日アルバイトを入れるなどしていました。

私も低学年の間に授業の単位を取ったので、学業面では特に苦労しなかったのですが、アルバイトは続けていました。3月前半には企業側が一気に動き出し、募集要項が増えていき、忙しくなるので、アルバイトは休みにしておいた方が良くと思います。

Q.14

就活中の失敗談と成功談を教えてください。また、それらを踏まえて、こう改善すればよかった!という点があれば教えてください。

業界を絞ってから就活を始めていたことが、私的には失敗であったなと思います。最初は情報メディア学科ということや、先輩や周りがIT業界やSE職を目指している人が多かったので、漠然と自分もそこを目指すんだと思って就職活動をしていたのですが、就職活動が解禁した3月1日から、ESを提出したり面接に進んだり、本格的な活動が増えていく中で、なかなかIT業界に内定が決まらず、自分には向いていないのではないかと、そこで初めて気づくことができました。なので、やはり業界をよく見るということは、とても大切なのだと思います。こういう経験をして思ったことは、“焦り”が一番の失敗の要因だということです。やって無駄なことはないので、自分は自分、と自分がやったことを信じていれば、必ず受け入れてくれるところが見つかると思います。

私の失敗談は、二次面接で話す内容を忘れてしまい、頭が真っ白になったことです。成功談は、頭が真っ白になってしまった時に、どうするのかということを事前に考えていて、すぐに立ち直ることができたことです。就職活動期間中は、就職活動してきた人の言葉をたくさん聞き、様々な本を読んで社会勉強をしてきました。就職活動対策で間違った方向に進まずに済んだのは、読書や人事の方とたくさんお話する機会があったからかなと思います。あと、就職活動はつらいものと捉えて、つらくなった時は何をするかなど、あらかじめ決めていたのも良かったなと思います。

私の失敗談は、最初はSE職ばかりを見ていたので、ポートフォリオの完成が5月の下旬になったことです。デザイン関係に少しでも興味があるなら、今すぐポートフォリオを作ってほしいなと思っています。大半の会社が3月から選考が始まるため、それまでにポートフォリオが完成しているといろんな会社にエントリーができます。3月になると企業のESに追われてしまうので、前もって用意している方がデザイン系で就職を考えている人たちは強いのではないのでしょうか。成功談は、自分のしたいことが明確に分かったことで、悔いのない就活ができたことだと思います。

失敗談は、インターンシップから選考まで、全部が繋がっているということ意識しておらず、インターンシップと選考が別物と思っていたことです。

1つの企業でインターンシップに参加した時に、靴を脱いでいることを指摘されてしまい、その企業に落ちてしまうということがありました。なので、インターンシップから選考は繋がっていると考えて行動することが大事だと思います。

また、就活解禁の3月1日が過ぎると説明会がたくさんあるのですが、Web説明会がほとんどだったので、予定を詰めすぎてしまい、寝坊して参加できなかったことがありました。Webだと家から参加できるので、一日に何社も説明会の予定を入れられるのは良い点ですが、計画的に行うことが大事だと思います。あとは不採用という結果がきても落ち込まないことです。成功談は企業にインターンシップに参加していたので、早期選考に数多く参加できたことです。

失敗談は、圧迫面接に近いことを経験し、質問に答えられなくて面接中に泣いてしまったことです。企業のことや自分が志望した業種の役割をしっかりと調べる必要があると身に染みて感じました。

成功談は、学校で開催された説明会で質問をしたら、企業開催の説明会時に「武庫女の!」と相手が覚えてくださっていたことです。質問するのは勇気もいりますが、覚えてもらえるチャンスであり、とても大切なことだと思います。

Q.15

業種は最終的に絞った方が良いでしょう。面接を受けていく中で絞っていくべきなのか、それとも様々な業種の面接を受けていくべきでしょうか。

私は、1つに絞る必要性はないと考えていて、興味がある職種で絞って受けたい方がいいのではないかと思います。1つに絞ってしまうと、なんで受けなかったのだろうという後悔が出てきてしまうので、全然違う業界でも行きたい会社はエントリーするべきだと思います。

Q.16

インターンシップは、選考ありと選考なし、どちらを多く参加しましたか？

私は選考のあるインターンシップには行かず、すべて先着順の1dayインターンシップに参加していました。

私は両方参加しました。選考がある場合は、履歴書を送ってくださると指示があることが多いです。「インターンシップに参加するためのインターンシップ」というのがあり、そこに参加しないとインターンシップ自体に参加できないという企業もありました。

私は1dayインターンシップに一度だけ参加したのですが、特に選考に繋がるというものはありませんでした。ただ、説明会に参加しなかったら選考に繋がらない、という企業はありました。

選考ありと選考なしの見分け方や割合は分からないのですが、「インターンシップに参加するためインターンシップ」や、インターンシップに参加していない人は、説明会に参加できません、というもあるので、企業サイトやマイナビサイトなどに書かれていることをきちんと読むのがいいと思います。

どちらも参加しました。私は、11月後半に大学3年生向けのインターンシップに先輩として出演させていただいたことがあります。その時に企業の人事の方が何をしているのかと思って見ていたのですが、いい発言をしていた人や、周りをよく見ている人などをメモにとっていたので、どんなインターンシップでも見られていると思います。

Q.17

面接のときにグループ面接をしてらっしゃる方がいらしたら、その時のコツなどを教えてくださいませんか？

私を含めた4人でグループ面接を行ったことがあります。私以外の3人が国公立大学の人でした。学歴をそこまで重視するような会社ではなかったのですが、普段通り率先して会話をしていました。皆の得意なことを読みつつ、自分の得意であることが生かせる役回りになることが重要なのと、話になかなか参加できていない人に会話を投げかけると、好印象を抱かれていたと思います。

最終面接はグループ面接と聞いていたのですが、複数人で行うのかと思っていたら私ともう一人しかいなかったです。特にお互い干渉しあうことなく同じ空間で同じ質問をされる形式だったので、お互いを見るということにはなかったのですが、話は聞いているよというアピールはしていました。

Q.18

SPIの試験勉強はいつ頃、どのようにされましたか？

SPIの勉強をいつから開始したかは覚えていないのですが、書店で本を一冊購入して、自分で勉強していました。先輩にはたくさん勉強していたほうが良いと言われていたのですが、私はそこまでできていませんでした。SPIで落ちてしまうこともよくあったので、本当に勉強をしておいた方が良いと思います。あと、CABやGABなど様々な種類のものがあるのですが、何冊も本を購入することは私にはできないと思ったので、図書館で勉強していました。

私も同じでSPIの勉強は早いうちから勉強していた方がいいと言われていたのですが、あまり早くから取り組めず、SPIに種類があることも知らない状態でした。あとからIT企業だったらそれ専用のSPIがあることを知ったので、様々な種類のSPIがあることを事前に調べておくことと、勉強も早めに取り組んでおく方が良いと思います。

私もSPIの勉強はしていませんでした。選考に進もうと思ったらSPIの試験があるので、早めから取り組んでおくべきだと思います。

私もSPIの勉強は特にしていませんでした。ぶっつけ本番で頑張りました。算数の問題と四字熟語やことわざの問題が多かったように思います。あと、企業によってはひたすら足し算をするような問題もあったので、あまりSPIだけに拘らず幅広く見ておくのが良いと思います。

試験のペースを掴むためにマイナビとリクナビの定期試験だけは受けていました。私が受けた中で印象に残っている問題は、国語や算数などの教養科目ではなく、リーダーシップ問題のような出題です。それはとても難しく、解けなかった覚えがあります。ただ、選考には受かっていたので、答えのない問題だったのだと思います。

Q.19

面接で授業やゼミ活動の話が
されましたか？また、その時の
面接官の反応はどうでしたか、
教えてください。

ゼミや授業の話をするのは多かったです。ガクチカにゼミ活動の内容を書いていたので、聞かれることが多かったのだと思います。私は、ゼミで「尼崎あんかけちゃんぼん」をテーマに活動を行い、コンペで賞をもらいました。面接時は、「尼崎あんかけちゃんぼん」というワードに、みんな興味を持っており、どんな食べ物なのか、どこで食べることができるのか、と聞かれることが多かったので、賞を取ったということよりもどんな活動を行っていたと言えるようにしておく方が良いと思います。

私も学校生活やゼミ活動のことを多く話しました。学校生活のことだと、体育祭実行委員をずっとしていたので、その中でどういった役割回りをしていたか、どんなことを考えながら活動をしていたか、ということをお話しました。ゼミだとWebの勉強をするサークルに所属していたので、その中で下級生とどういった関係性を築いていたかなどのお話をしていました。一次面接や二次面接は真面目な話をするのですが、最終選考になっていくにつれて、人柄を見られるような軽い質問が増えていったように思います。なので、様々な面から1つの取り組みを見ることができれば良いのではないかと思います。

私はESにゼミのことを書いておらず、ゼミの説明は軽く紹介しただけなので、そこまで深くは聞かれませんでした。ESには授業のことを書いていたので、どんな授業を受けていたのかということをお聞かせしました。IT企業を中心に受けていたので、授業のことを質問する面接官が多いように思いました。

私はガクチカにゼミのことを書いていたので、授業のことよりもゼミの話をよくされました。私のゼミはコンペやMラボに参加するのですが、参加した時の審査員の反応はどうだったかなどのお話がありました。コンペで「母親専門お昼寝カフェ」というものを提案したのですが、提案内容の着眼点などを聞かれることもあったので、コンペに参加した内容をアピールする人は、そういうところも答えられるようにしておく方が良いと思います。コンペの参加理由や参加した際の講評なども覚えておく方が良いと思います。

私はゼミで色彩について学んでいたのですが、そのことをESに書いていました。ただ、面接時にゼミで何を頑張ったかという質問に、自分の中では定番の、色彩とは無関係の子供向けワークショップの話をしてしまい、ワークショップと色彩は関係しているのですか？という問いかけに、上手く答えられませんでした。なので、専攻内容と学生時代の活動に何かしら関係性があると良いと思います。

Q.20

エントリーシートや履歴書の
書き方のコツがあれば教えて
ください。また、添削は誰にし
てもらいましたか？

ESの添削はキャリアセンターの方にこまめにさせていただきました。あとは、ワンキャリアというサイトで企業名を検索して、受かった先輩のESを参考にしていました。

私は、ゼミの先生にずっとお願いしていました。履歴書のコツは、履歴書の書き方の本を読んで実際に書き、それを添削してもらい、また書くというのを繰り返すことです。

私も、ワンキャリアとOpenWorkを使って、選考に通っている先輩たちがどんな文章を書いているのかということを見て、結論から書くことを重視して書いていました。添削は、キャリアセンターか友達にお願いしていました。文章を書くことや面接が得意な友達がきっと周りにいると思うので、その子たちの力を借りて就職活動をしたら、きっと楽しい就職活動になると思うのでお勧めします。

ゼミの先輩から実際に書いたESを見せて貰って、それを参考にしながら文章を書きました。それとワンキャリアも活用して選考が通った先輩のESも参考にしていました。

私は、ユニバーサルスタジオジャパンでアルバイトをしているのですが、関係者以外の人には伝わらない用語が多かったので、知らない人にも分かるような言葉に置き換えて書いていました。あと何かを成し遂げたことを説明する際には、達成したまでの過程を書いておくことがとても大切だと思います。